

十名が千五百名で田崎重役に買収さる遂に争ぎをして何のために争ぎ
 したか判らないうちにウヤムヤにして仕まった。此れは所謂デマではない。田
 崎社長が査問委員に迫られて渡したと言ふ当時の幹部中を此を委ねた
 と言つてゐるで明らかである。(之れは幹部中わけ前のケンカからバクロされたのだ)
 以未当三田土ゴムの資本金家は旧勢力たる田崎一家と新勢力たる興銀派と
 の間に坵仕合が続いて来た。それに対して組合。取高幹部と称されま
 望同済者は「斯かる場合は産業資本金を助成せねばならぬ」と言つて
 我々従業員に旧勢力たる田崎一派に味方すべく強要した。
 当時我々は一重役向の対立斗争に利用されずに従業員は従業員として 経
 営者に対して強固なる結束行動を必要とすると思つて居つたりでこつ組
 合の高等政策づくりに深いギモンを持つようになつた。

今年春以味産業合理化の荒浪に三田土は浮沈の中に経営を続けて来た
 と見へて毎週定は延期くして給料は三四四回に分割拂ひにて 遂には
 届まりに届つて来た。そのために従業員は家賃どころか米も買へなくな
 つて来た。一方経営者の方を言へば若し旧重役が軽く頭を下げれば新勢力
 に対して妥協が出来る状態であつたが 資本家間の我利く斗争は激
 烈も極むる様になつて居つた。

即ち新勢力は金の力 旧勢力は労働組合を通じて従業員を味方にする
 ことにより互に我意を通さうとした。
 此のために興銀は既に約速清みの資本金を出さないので 原料は買へぬ給
 料は押へぬようになつて来た。それは勿論買本家共の勝手を自業自得だ
 それなのにその責任を従業員に肩すべく減給 首切 未納 延期 等をもって重
 役共は従業員に迫つて来たを故に我々は反対斗争すべく組合の会合に提
 言したり寄り寄り協定すると誓ひてし組合幹部は暴力団を(社会外組
 合負うし)連れ来りこれを質し遂に流血の惨まで演じたことがある。しかも
 之れは重役公認の事実たるにおいて我々はモ、ヤ組合の刷新位では駄目だ
 と思ふに至つた。

右の経過の中望月源次等は前記の通り氏等所謂「産業資本金を協助す
 る」ため従業員に内証を伺調会の町田労働課長のいとも親切なる紹介によ

町田労働課長のいとも親切なる紹介によ